

□議員名：白井 健一郎

1 ICT教育とは

論点	本市を始め、全国の小中学校で始まったICT教育とは何か。
回答	パソコンやインターネットという情報通信技術を用いた電子教材、を活用した教育。1990年代以降、学校にコンピュータ室を設けたり、パソコンなどを授業で積極的に活用している。

論点	タブレットを小中学校の全生徒に一人一台配布するきっかけ、理念は何か。
回答	学校間のICT環境に地域差がある。また授業でのICT活用が諸外国より低い現状を改善するため、令和元年、国がGIGAスクール構想を打ち出した。これを受けて本市でも一人一台端末と教室の通信環境整備をした。病気で学校に来られない生徒や特別支援を要する生徒も含め、個々に応じた学びを進めるために大変効果的なツールである。一人一人を大切にしている教育の実現が理念である。

論点	現在、どのような授業にどのように用いられているか。
回答	鉛筆やノート等の文房具として活用することを考えている。無限大の情報に触れながらその中から必要な情報を取捨選択すること、またAI（人工知能）ドリルを用いた個別学習、あるいは観察実験（写真や動画で記録分析する）。これらをプレゼンソフトでまとめ、表現するなど。デジタル教科書は2科目で使っている。

論点	タブレットは公費か。義務教育の教科書は法律で無償のはず。
回答	今後は国の動向だが、現在は全額公費である。

論点	学校長や教員にタブレットをどのように利用するかについて、どの程度のどのような裁量があるのか。
回答	教育活動の質を高め、教育の情報化の推進に資するように、子供たちの状況に応じて判断している。各学校では横のつながりを大切に、学校間の交流にも配慮している。

論点	タブレットで授業形態が変わるのか。例えば板書の省略、メールでの宿題送信、デジタル教科書への書き込み、生徒たちの好奇心の利用、協働学習（昔の新聞作り）等。
回答	I C T機器を利用して、これまでの事業実践とのベストミックスを図る。グループ学習、ペアや個人学習も考えられる。

論点	タブレットを利用する利点は何か。
回答	教師側の利点として、授業評価等のアンケート集計が自動でできる学習課題の配布送信、カラーで印刷作業も無しに資料提示ができること。生徒側の利点として、検索ができる、情報の視覚化、友達の考えの可視化、過去の学習の振り返り等。

論点	I C T教育のD X（デジタル・トランスフォーメーション）についてどう考えるか。
回答	今からの時代を生き抜く子供達にとって、このI C Tの活用というのはマストアイテムになる。それを活用する能力をしっかりと提供しながら、これからの時代の在り方等も一緒に考えていく必要がある。

論点	新学習指導要領に提示された「社会で生き抜くための資質、能力を育む必要性」や「主体的、対話的深い学び」に結びつけて考えると、タブレットはどのような点で有益なツールになるか。
回答	今後I C Tを日常的に活用することが当たり前の世の中になるが、この膨大な情報の中から取捨選択をして自らの生活に生かしていくこと、情報モラルも学ぶことは必要不可欠である。また主体的な情報収集及び発信は、考えの可視化による対話の促進という面もある。タブレットは大変有益なツールである。デジタル・シティズンシップという、行動の善悪を自分で判断できる力を身に付けさせることを目的にもしている。

論点	不登校児童あるいは障害がある児童に対してタブレットは有効な手段にならないか。共に社会的包摂の問題であり、特に後者はインク
----	--

	ルーシブ教育と関わる。
回答	本市では、全ての児童生徒に端末を貸与し、ルータを貸し出すなど全ての児童生徒に利用できる環境を整えている。新型コロナ感染症など様々な理由で投稿出来ない児童生徒に対しても、オンライン授業や学級活動へ参加できるような環境を整えている。学校と児童生徒がつながり続けることで、児童生徒の心の支えとなり、学びに向かおうとする意欲の回復に全校体制で向かえるように、引き続き各学校への支援に務めていきたい。

2 沖中川治水について

論点	本年3月議会で約束した沖中川しゅんせつは、なぜ11月初旬まで遅れたのか。
回答	今回のしゅんせつは、川底にたまった土砂の除去ではなく、繁茂した藻の除去で、状況を踏まえ、効果的効率的な時期に実施した。

論点	一言で言えば、今回（令和4年9月19日）沖中川が溢れたのは豪雨が原因だったと言われるが、今回の豪雨は想定外だったのか。
回答	想定外というか、災害基準雨量を超え、短時間に雨が降ったことが主たる原因である。

論点	厚狭で警戒レベル5、小野田で警戒レベル4が出た時、厚狭だけでなく小野田でも警戒レベル5の緊急速報メールが流れるようだが、対処方法はあるのか。5は「家に待機して安全な場所に」、4は「避難場所に逃げよ」で5と4では全く違うはずだが。
回答	緊急速報メールは、携帯電話各社のサービスで、およそ市内に滞在されている方に向けて基地局から電波の範囲内にあるスマホ等へ一斉送信される仕組みとなっている。そのために市内で地域ごとに区分することは技術的に困難である。